

お〜い

平成25年 137
月刊 4月号
「お〜い」編集委員会
品川区西大井 4-1-8
大井第三地域センター内
☎ 3773-2000

卒園・卒業おめでとう！

幼稚園・保育園 128人
伊藤幼稚園、うさぎ幼稚園
伊藤保育園、富士見台保育園
緑の家保育園、みどりの丘保育園
にしおおいキッズタウン

小学校・中学校 571人
大井第一小学校
伊藤小学校
伊藤学園
富士見台中学校

防災特集

2万人近い死者・行方不明者が出た東日本大震災(2011年3月11日)から2年、6434人が犠牲となった阪神大震災(1995年1月17日)から18年が経過しました。今、新たに首都直下型地震への不安が広がっています。起きてみなければ、どうなるか分かりませんが、「その時」に備えて身の回りの対策を考えておきましょう。

次なる大地震に備えよう

品川区は2月2日朝、「区内一斉防災訓練」を13カ所で行いました。こうした広域的な訓練は初と言われ、私たちが暮らす大井第3地域センター管内では、「ウェルカムセンター原」が避難所となる出石町会と西大井二丁目町会が対象となりました。当日、区職員と両町会員、見学で庚塚、西大井五丁目町会が参加しました。



午前9時半に震度7の地震が

発生した、との想定で対象2町会の「避難所連絡会議役員」は、ウェルカムセンター原へ直行し避難所の開設作業を進めました。一方、「避難者」役の住民は、一時集合場所に集まり集団で避難所に移動、「避難者名簿」への記帳や乾パン等避難物資の配布を受けるなどの訓練をしました。



参加者は真剣な表情で取り組んでいましたが、2月と言えば真冬、「実施時期も考えて...」と言う声や初の取り組みで慣れない対応も見受けられました。



災害に備える豆知識

品川区ホームページの「災害に備えて」欄に、地震から身を守るための10項目が掲載されています。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| グラツきたら 身の安全 | 門や塀にはちか寄らない |
| すばやい消火 火の始末 | 正しい情報 確かな行動 |
| あわてた行動 けがのもと | 避難の前に 安全確認 電気・ガス |
| 窓や戸を開け 出口を確保 | 確かめ合おう わが家の安全 お隣りの安否 |
| 落下物 あわてて外に 飛び出さない | 協力し合って 救出・救護 |



災害に備える豆知識

この他、同ホームページには「家庭内安全対策」として
自宅から火災を出さぬよう消火器を備えよう 家具の転倒防止の対策を 窓ガラスなどには、飛散防止のフィルムを貼ろう...などと記載されています。
また、最低3日分の食料や飲料水(目安・1人1日3リットル)を用意する「家庭内備蓄の充実」や避難の際に必要な「非常持ち出し品」の用意なども、呼びかけています。興味のある人は、区のホームページを開いてみてください。

集合場所や避難所を覚えておこう

避難が必要な場合、公園など「一時(いっとき)集合場所」に集まって集団で「避難所」へ移動するか、直接、避難所へ向かうこととなります。各町会別にその場所が指定されています。覚えておけばいざという時、慌てないかも知れません。

町会名	一時集合場所	避難所
大井鹿島町会	= 大井第一小学校	大井第一小学校
大井庚塚町会	= 鹿島庚塚児童遊園	大井第一小学校
出石町会	= 西大井3丁目防災活動広場	ウェルカムセンター原
西大井二丁目町会	= ウェルカムセンター原	ウェルカムセンター原
西大井四丁目町会	= 西ノ森公園・西大井4丁目防災活動広場	伊藤小学校
西大井五丁目伊藤町会	= 伊藤小学校・富士見台中学校	富士見台中学校
西大井六丁目町会	= 西大井広場公園	伊藤小学校

さらに、「避難勧告」が出た場合は、「広域避難場所」へ避難することになります。
大井第3地域センター管内に住む住民の広域避難場所は、大井競馬場・品川区民公園です。

山梨県内に単身赴任していた18年前、同僚の両親が阪神大震災で亡くなりました。遺体を実家へ搬送するため安置所に先行していた同僚と合流することになり、私も被災地へ向かいました。発生から3日目の事です。主要幹線道路は、車の洪水で救急車両も立ち往生、警察の規制は無きに等しいように見えました。電車を乗り継ぎ、チャーターしたオートバイの荷台に乗ってやっと安置所に着きました。
この時、防災訓練や防災計画は本当に役に立つのだろうか、と思いました。その疑問は今でも消えません。それでもリタイア後は、「地域の力」(共助)を信じて毎回、訓練に参加しています。
(古賀 記)